

麦類及び水稲の6月上旬の巡回調査結果の概要

1 麦類

【東北信】調査日 6月5、6日

- ・調査時の小麦の生育は、主に登熟期であった。
- ・小麦の赤さび病は、長野市で発生がみられ、一部のほ場では発生が多かった。また、わずかなではあるが、うどんこ病の発生がみられた。長野市以外の巡回ほ場では、さび病、うどんこ病の発生は認められなかった。
- ・小麦の赤かび病は巡回ほ場での発生は認められなかった。

【中南信】調査日 5月30日、6月5日

- ・コムギ赤さび病は、伊那市、南箕輪村及び松本市の巡回ほ場で発病が認められた。伊那市ではやや発生の多いほ場もあった(写真1)。ムギ類黄さび病、オオムギ小さび病の発病は確認できなかった。
- ・コムギうどんこ病は伊那市、南箕輪村、松本市、安曇野市及び池田町の巡回ほ場で発病が認められた。オオムギうどんこ病の発病は認められなかった。
- ・赤かび病は、小麦、大麦ともに巡回ほ場での発病は認められなかった。
- ・小麦の巡回ほ場では、水稲の斑点米カメムシ類の発生も確認された(写真2)。



写真1 コムギ赤さび病(伊那市、冬孢子堆と冬孢子)



写真2 小麦巡回ほ場で確認された斑点米カメムシ類

(左からアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカヒメヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、ブチヒゲカメムシ)

2 水稲

【東北信】 調査日 6月3、4、5、6、10日

(1) イネミズゾウムシ

- ・寄生虫数、成虫による食害（被害度）は（写真3）ほぼ平年並みであったが、一部のは場では、寄生虫数、被害度が多かった。

(2) イネドロオイムシ

- ・巡回ほ場の中では、食害（被害）は確認されなかった。
- ・佐久市布施の巡回ほ場で寄生成虫を1頭確認した。



写真3 イネミズゾウムシの食害

【中南信】 調査日6月1、4、6、7日

(1) イネミズゾウムシ

- ・被害は巡回ほ場全てで確認されたが、いずれもわずかで、苗箱施薬の効果により抑えられているものと考えられる。（写真4）

(2) イネドロオイムシ

- ・常発地を含め今回の調査では発生を確認できなかった。



写真4 イネミズゾウムシ成虫（松本市）

担当：若林秀忠（東北信）

TEL:026(248)6471 Eメール:bojo@pref.nagano.lg.jp

担当：岩波 靖彦（中南信）

TEL:0263(53)5642 Eメール:bojo-y@pref.nagano.lg.jp